

令和7年度 指導・評価計画 国語Ⅰ学年

124世田谷区立砧中学校

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	「朝のリレー」 言葉に出会うために 「野原はうたう」 季節のしおり 春	12	・言葉の描く情景について、理解を深めている。 →朝の訪れる仕組みを踏まえて説明できる。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
5	学びをひらく 「はじまりの風」 話の構成を工夫しよう 1枚の写真をもとにスピーチをする 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう！	12	・情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
6	ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く 文法への扉! 言葉のまとまりを考えよう 空の詩 三編 詩の創作教室 比喩で広がる言葉の世界 言葉！ 指示する語句と接続する語句 語彙を豊かに心情を表す言葉	16	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →本文中に比較がどのように使われているかを理解している。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →筆者の主張と事例との関係を理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 単語の類別について理解している。 →文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 →表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 比喩などの表現の技法を理解し使っている。 →文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 →指示する語句と接続する語句の役割を理解している。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。	"「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →「問い合わせ」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。 " "「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 " "「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 →日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。 →「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 " "「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 →詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 " "「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。

7	<p>情報収集の達人になろう 読書を楽しむ 本の中の中学生 季節のしおり 夏 漢字に親しもう2 大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに</p>	<p>I 2</p> <p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。" 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。" 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 →読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している." →戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 →様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのかを考えている。</p>	<p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 →必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。" 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 →文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。" 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。</p>	<p>引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。</p>
9	<p>"聞き上手になろう 質問で話を引き出す" "項目を立てて書こう 案内文を書く" 【推敲】読み手の立場に立つ 言葉2 方言と共通語</p>	<p>I 2</p> <p>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 →情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →正確でわかりやすい表現に書き改めている。 "共通語と方言の果たす役割について理解している。 →共通語と方言の役割や特徴について理解している。"</p>	<p>・"話すこと・聞くこと"において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 →話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。" "「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。 →読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。</p>	<p>進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。 集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>
10	<p>根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する 漢字に親しもう3 【話し合い】 進め方について考えよう "話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる" 音読を楽しもう 大阿蘇</p>	<p>I 6</p> <p>意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。" 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 →自分の考えをまとめ際に、意見に対する根拠を考えている。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 →話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。" 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 →話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。" 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 →繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。</p>	<p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
11	<p>季節のしおり 秋 "音読を楽しもう いろは歌 古典の世界" "蓬莱の玉の枝 —「竹取物語」から" "今に生きる言葉 【書く】故事成语を使って体験文を書こう" "「不便」の価値を見つめ直す</p>	<p>I 6</p> <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →秋に関わる言葉にふれ、それぞれの秋の情景を想像している。 ・音読に必要な文語のつまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 →言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 →小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざ</p>	<p>・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 →「蓬莱の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。" ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 →「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割など</p>	<p>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成语を使った文章を書こうとしている。 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまと</p>

		<p>まな種類の作品があることを理解している。</p> <p>音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>→音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。</p> <p>音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>→音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 <p>→意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 <p>→要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。</p>	<p>を意識して文章の構成や展開を考えている。</p> <p>→「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 <p>→目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 <p>→賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 <p>→立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。</p>	<p>めようとしている。</p>
12	"思考のレッスン2 原因と結果" "文法への扉2 言葉の関係を考えよう" "研究の現場へようこそ 四百年間のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう" 季節のしおり 冬 少年日の思い出 漢字に親しもう5	<p>I 2</p> <p>"原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>→原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。</p> <p>"単語の類別について理解している。</p> <p>→「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。</p> <p>"読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p> <p>→読書の意義（=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと）を理解している。</p> <p>"事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>→冬に関わる言葉にふれ、それぞれの冬の情景を想像している。</p> <p>"事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>→場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。</p> <p>"小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>→筆者のものの見方や考え方方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 <p>→時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 <p>→登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 <p>→別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。</p>	<p>今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。</p> <p>単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p> <p>文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
I	"文法への扉3 単語の性質を見つけよう" 二十歳になった日 "構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く" 言葉3 さまざまな表現技法	<p>I 2</p> <p>単語の類別について理解している。</p> <p>→「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。</p> <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>→「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。</p> <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</p> <p>→場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 <p>→読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章にな 	<p>今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。</p> <p>進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。</p> <p>積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。</p>

			<p>→体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。" 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 →比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</p>	<p>るよう工夫している。 →書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。"</p>	
2	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しう6 一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する ぼくがここに	I 2	<p>小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 →漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。 "・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 →詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 →聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 →「観点」に見合った情報をを集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 →詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p>	<p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
3	学習を振り返ろう	I 2	<p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 →曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 →課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 →温暖化による流水の減少が、環境に与える影響について、網走気象台の観測記録からわかった事實を二つに分けて書いている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 →「……という警告。」で終わる形になるように、筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 →話すときは、聞き手の反応を踏まえて、伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠となる事例を挙げて文章を書いている。</p>	<p>今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>
主たる評価材料		作品・テスト・ポートフォリオ		作品・テスト・ポートフォリオ	作品・テスト・ポートフォリオ